



北海道大学

令和3年12月2日
北海道大学 記者会見 資料1

北海道大学 ダイバーシティ & インクルージョン 推進宣言の発信について

北海道大学

1. 北大が目指すビジョン
2. D&I推進宣言策定の経緯
3. D&I推進宣言
4. 北海道大学における多様性
5. 今後の活動



知と創造の歴史を積み重ねた北海道大学の歩み 創基150年に向けてさらなる発展を

北海道大学は、1876年に札幌農学校として開校し、以後、東北帝国大学農科大学、北海道帝国大学を経て1947年から北海道大学となり、現在に至っています。ウィリアム・S・クラーク博士の意思を受け継ぐフロンティア精神のもと、日本の基幹大学として世界をリードし、新たな時代を開拓し続けています。

1876

札幌農学校として開校

マサチューセッツ農科大学長ウィリアム・S・クラークが札幌農学校初代教頭として着任。
1876年8月14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日)。



開校当日の札幌農学校

北大の変遷

明治

1907

東北帝国大学農科大学に東北帝国大学が設置され、札幌農学校が東北帝国大学農科大学に。

1909年、練習船おしよろ丸(現・おしよろ丸V世)新設。



1909年、練習船おしよろ丸(現・おしよろ丸V世)新設。

大正

1918

北海道帝国大学に

北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学に。翌年、農科大学を改称して農学部を設置。以後、医学部、工学部、理学部、法文学部(現・文学部、法学部、経済学部)を順次設置。



1920年、4つ目の学部として理学部を設置。現在は総合博物館

昭和

1936

中谷宇吉郎博士が世界で初めて人工雪結晶を製作



二重ガラス管人工雪製作装置。総合博物館に他の資料とともに展示されている

1941

低温科学研究所設置

寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用に関する研究を行うことを目的に設置。



設立当時の低温科学研究所

1947

北海道大学に

北海道帝国大学が北海道大学に。1949年には国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(法文、教育、理、医、工、農、水産の各学部)設置。

1953

新制大学院設置

文、教育、法、経済、理、工、農、獣医、水産の各研究科を設置。

1955

大学院に医学研究科設置

1967

1952年に獣医学部、1965年に薬学部、1967年に歯学部を設置し、12学部に。

2004

国立大学法人北海道大学に

平成

1943

触媒研究所設置

世界で初めて「触媒」の名を冠した研究所として1943年に誕生。1989年に触媒化学研究センターに改組。2010年に文部科学省から共同利用共同研究拠点として認定を受け、国内の触媒研究に従事する研究者の利用に供すべく拠点活動を行う。2015年に触媒科学研究所として改組。

1978

スラブ研究センター設置

ロシア(ソ連)をはじめとするスラブ地域との関係が深かった北海道の地に、日本のスラブ研究の拠点として誕生。2014年にスラブ・ユーラシア研究センターに改称。

2003

北海道大学病院設置

医学部附属病院と歯学部附属病院を統合し、地域や社会からの高度な要請に対応できる医療の提供と人材育成を推進。



北海道大学病院

2021

創基145年

令和

2018

化学反応創成研究拠点(ICReDD)設置

文部科学省の事業である世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択され設置。



2010

鈴木章ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授ノーベル化学賞受賞

鈴木・宮浦カップリング合成法の開発によりノーベル化学賞を受賞。医薬品・液晶・有機ELなどの開発、量産化に大きく貢献。



2007

アイヌ・先住民研究センター設置

国内唯一の先住民研究の専門研究機関として、アイヌ民族をはじめ先住民と協同し、先端的・実践的な教育研究を推進するセンター。



センター開設記念式で実施したカムイミ(神への祈り)

2005

人獣共通感染症リサーチセンター設置

2021年に人獣共通感染症国際共同研究所に改組。新型コロナウイルス感染症の国際的な研究拠点としても活動。

2026

創基150年

本学の歩み・沿革については、以下の本学ウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.hokudai.ac.jp/introduction/pdf/20210802_gaiyou.pdf#page=4



1, 比類なき教育

明治初期から全人教育・リベラルアーツ教育を中心した海外教員による英語授業



1876年 クラーク先生



1879年 アメリカ人教員



2013年 新渡戸カレッジ

2, 比類なきキャンパス

研究林



臨海実験所



1876年8月14日 開学当日の農学校



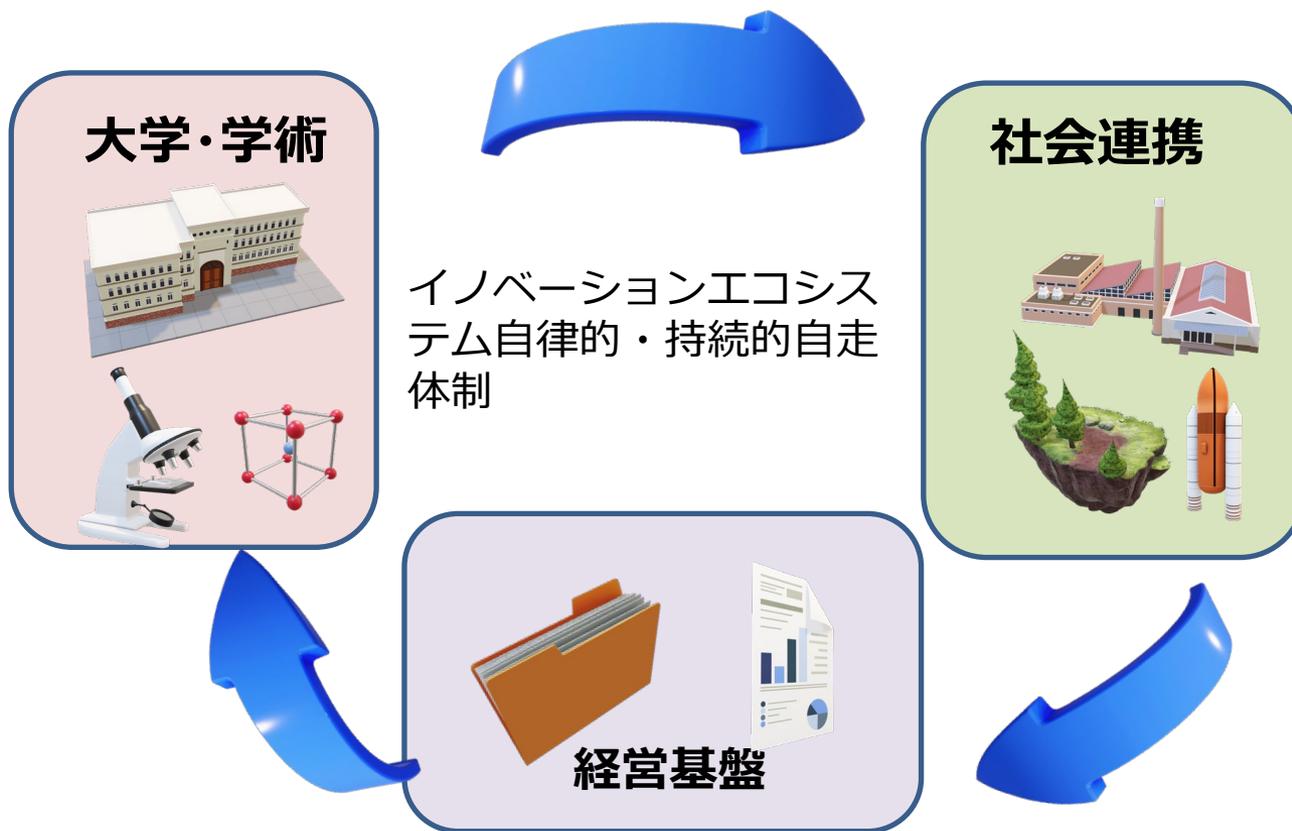
函館キャンパス



札幌キャンパス

2021年





2026年に向けて、北大のプラン

1

確かなパートナー
「北大」へ

堅牢／透明なガバナンス・
IRデータ駆動型経営

G ガバナンス

2

「北大」を先導する
未来戦略本部

大学院改革・融合研究創出

G ガバナンス

3

動く「北大」へ
－制度改革・働き方改革

DX・年俸制／業績給・教職協働

G ガバナンス

4

自律的エコシステム
「北大」へ－財務強化

経営的収入・産学連携強化

S 社会

5

広げる・拡がる・繋がる
「北大」の連携

地域貢献・起業・
ポストコロナのグローバル化

S 社会

6

世界の課題解決に
貢献する「北大」へ

フィールド研究・SDGs・
脱炭素／気象変動

E 環境

ESG / Environment 環境 / Society 社会 / Governance ガバナンス





旧昆虫学及び養蚕学教室 (1901年～)



古河講堂 (旧林学教室1909年～)



旧図書館 (1902年～)



脱炭素・気候変動対応
SDGs-ESG

ジェンダー平等・パートナーシップ

「光」は「北」から
「北」から「世界」へ



世界の課題解決に貢献する北海道大学へ

2026年の創基150年に向けて策定
(2014年)

1. 北海道大学は、次世代に持続可能な社会を残すため、
様々な課題を解決する世界トップレベルの研究を推進する。

(4) 次世代を担う若手研究者などを支援・育成する。

- ① 優秀な若手研究者・女性研究者の積極的採用
- ② 若手研究者早期育成のための分野に応じたテニュアトラック制度の拡大

2. 北海道大学は、専門的知識に裏づけられた総合的判断力と高い識見、
並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、
国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する。

3. 北海道大学は、学外との連携・協働により、
知の発信と社会変革の提言を不断に行い、国内外の地域や社会における
課題解決、活性化及び新たな価値の創造に貢献する。

4. 北海道大学は、総長のリーダーシップの下、組織及び人事・予算制度などの
改革を行い、構成員が誇りと充実感を持って使命を遂行できる基盤を整備し、
持続的な発展を見据えた大学運営を行う。

5. 北海道大学は、戦略的な広報活動を通じて、
教育研究の成果を積極的に発信し、世界に存在感を示す。



世界の課題解決に貢献する北海道大学へ

北海道大学
近未来戦略
150

FUTURE STRATEGY FOR
THE 150TH ANNIVERSARY
OF HOKKAIDO UNIVERSITY



1. 北大が目指すビジョン
2. **D&I推進宣言策定の経緯**
3. D&I推進宣言
4. 北海道大学における多様性
5. 今後の活動



男女共同参画/女性研究者支援

- 2004年男女共同参画委員会
- ポジティブアクション北大方式
- 2006年女性研究者支援室開設
- 2009年女性研究者支援室を人材育成本部へ
- 文部科学省補助事業による女性研究者支援推進

国際化/若手研究者登用促進

- テニュアトラック促進事業
- スーパーグローバル大学創成事業
- 研究大学強化促進事業
- 2014年
北海道大学近未来戦略150策定

年齢、職位、国籍等、研究者の多様化が促進

多様性を包摂し、
すべての研究者がその能力を存分に発揮できる環境の実現へ



2020年4月

女性研究者支援室を 「ダイバーシティ研究環境推進室」へと名称変更

“多様性と包摂（ダイバーシティ & インクルージョン）”
に関する全学的な課題にも取り組む土台

2019年～2024年

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」 多様な研究人材の活躍による地域活性化に向けた取り組み

共同実施機関

室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、日東電工株式会社、株式会社アミノアップ



(北海道大学憲章)

教育研究に関わる「**基本理念**」とそれを踏まえ、すべての北海道大学人が実践すべき事柄を定めた「**行動規範**」、教育活動の姿勢を示した「**教育倫理綱領**」、研究活動の責任を示した「**科学者の行動規範**」により構成。

基本理念

建学の精神である教育研究に関わる基本理念

フロンティア精神

国際性の涵養

全人教育

実学の重視

教育倫理綱領

本学において教育を行う教員の教育活動全般に関する姿勢を示したもの。

行動規範

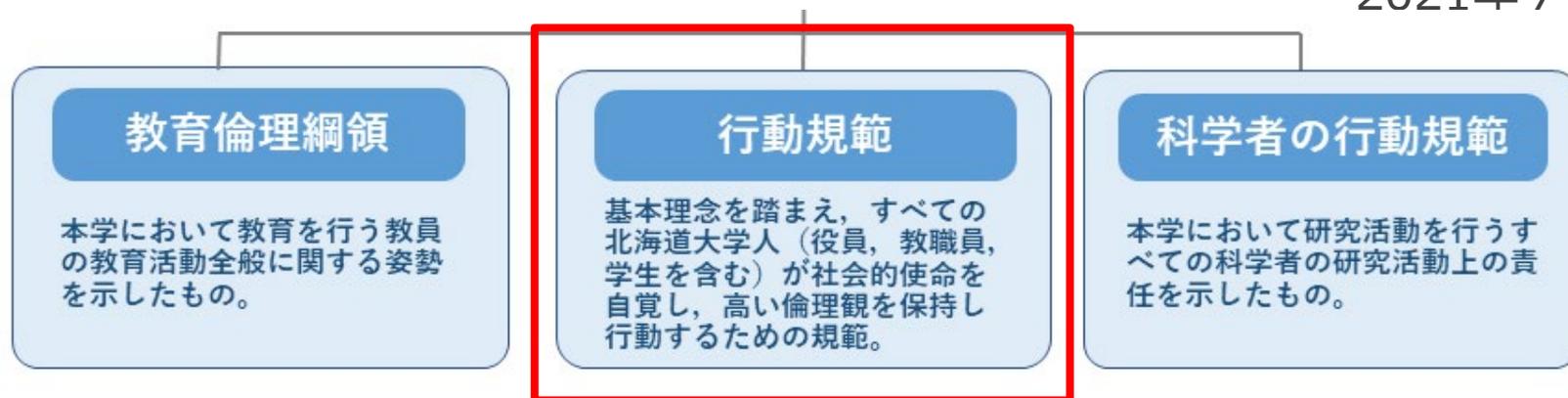
基本理念を踏まえ、すべての北海道大学人（役員、教職員、学生を含む）が社会的使命を自覚し、高い倫理観を保持し行動するための規範。

科学者の行動規範

本学において研究活動を行うすべての科学者の研究活動上の責任を示したもの。



2021年7月策定



I 倫理・コンプライアンスの徹底

II 持続可能な社会の創成

（人権と多様性の尊重）

私たちは、一人一人の人権と人格を尊重するとともに、あらゆる差別やハラスメントを許さず、多様な個性と能力が存分に発揮できる学修、研究及び就業の場を実現します。



1. 北大が目指すビジョン
2. D&I推進宣言策定の経緯
- 3. D&I推進宣言**
4. 北海道大学における多様性
5. 今後の活動



ダイバーシティ & インクルージョン

人権尊重の観点から人間社会の基盤
本学が真に「世界の課題解決に貢献する」ためには必須



**本学構成員ひとりひとりが
その意味と意義を理解するとともに、
国際社会に向けて本学の今後の決意を強く発信**





第20代 北海道大学総長
實金 清博

ひとりひとりが誇りを持ち、 自らの可能性に挑戦できる 環境を目指して

21世紀を生きる私たちが世界と地域の持続可能な発展に寄与するために、北海道大学は多様な人々との共存と共生を基盤とした「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を公表し、無意識の差別や偏見を乗り越えたバイアスフリーキャンパスの実現に向けて邁進します。

北海道大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言

2015年、国連サミットで「誰一人取り残されない」ことをスローガンに「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択され、世界の課題解決に向けて国際社会が結束して乗り越えることが必須であることが広く認識されました。その背景には、社会課題の多くが、多様な国や地域、人々の間で相互に複雑に連鎖し交差していることにあります。

北海道大学は、SDGs 採択に先立ち、2014年に創基150年に向けた近未来戦略150を策定し、「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」を新たな使命としました。そこには、総合大学としての強みを有機的に結合した「個性を持った総合力」を発揮し、「知の創成・伝承・実証の拠点」としての役割を担う大学の姿があります。すなわち、多様性を尊重しながら一体感を醸成する過程を通じて社会的責任を果たし、多様性社会を実現するために新しい価値を共に創り上げていく場としての大学です。これを実現するためには、多様な価値観や経験、意見が集い、自由で公正かつ公平な議論に基づいた「多様性にひらかれた教育・研究環境」が不可欠です。

そのためには、すべての大学構成員ひとりひとりが、他者への理解を深め、自らの無意識の差別や偏見に気づき、多様性を容れ受け入れる豊かな人間性と高い知性を育み、各々の能力を最大限に発揮することが大切です。そのうえで、その時々課題を引き受け、学問の自由と自らの問題意識に基づき、多様な人々と共に新たな知を

創造すること、およびそのような人材を育成することは、大学の基盤をなす根本的使命でもあります。

さらに、知の創造から知の実装に向けて、社会との連携を深め、様々なステークホルダーと共に協働していくことも、本学が目指す「実学の重視」を体現した姿のひとつであり、かつ大学に期待される社会的役割でもあります。その中で、誰一人取り残さない持続可能な世界の実現に貢献するためには、人権を擁護し、多様性を尊重する人々、組織、団体と協働していく必要があります。

以上より北海道大学は、誰一人取り残さず、人種、国籍、肌の色、言語、民族、出自、宗教、信条、性別、性的指向、性自認、ライフイベント、年齢、障害、外見・容姿、ライフスタイル、その他いっさいの個人の事由に関わらず、すべての構成員の尊厳が守られ、ひとりひとりが誇りを持ち、互いを尊重する大学環境を目指します。また、すべての構成員がその能力を最大限に発揮して自らの可能性に挑戦できることを目指して、さらなる意識改革および環境整備を進めます。これらの新たな理念と使命を掲げ、多様性を尊重し共生を実践することを決意し、「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進」を宣言します。

令和3年12月1日
北海道大学総長

2021年12月1日 (水)

ダイバーシティ & インクルージョン推進宣言



Diversity & Inclusion

Diversity and Inclusion Special website
<https://diversity.synfoster.hokudai.ac.jp>



HOKKAIDO UNIVERSITY

1. 北大が目指すビジョン
2. D&I推進宣言策定の経緯
3. D&I推進宣言
4. **北海道大学における多様性**
5. 今後の活動



国内最大の学部数

12学部 + **21**大学院 + **11**研究所・センター

出身学生が全国区

約 **7** 割が北海道以外の出身

(参考) 東大-東京・関東59%, 京大-近畿52%

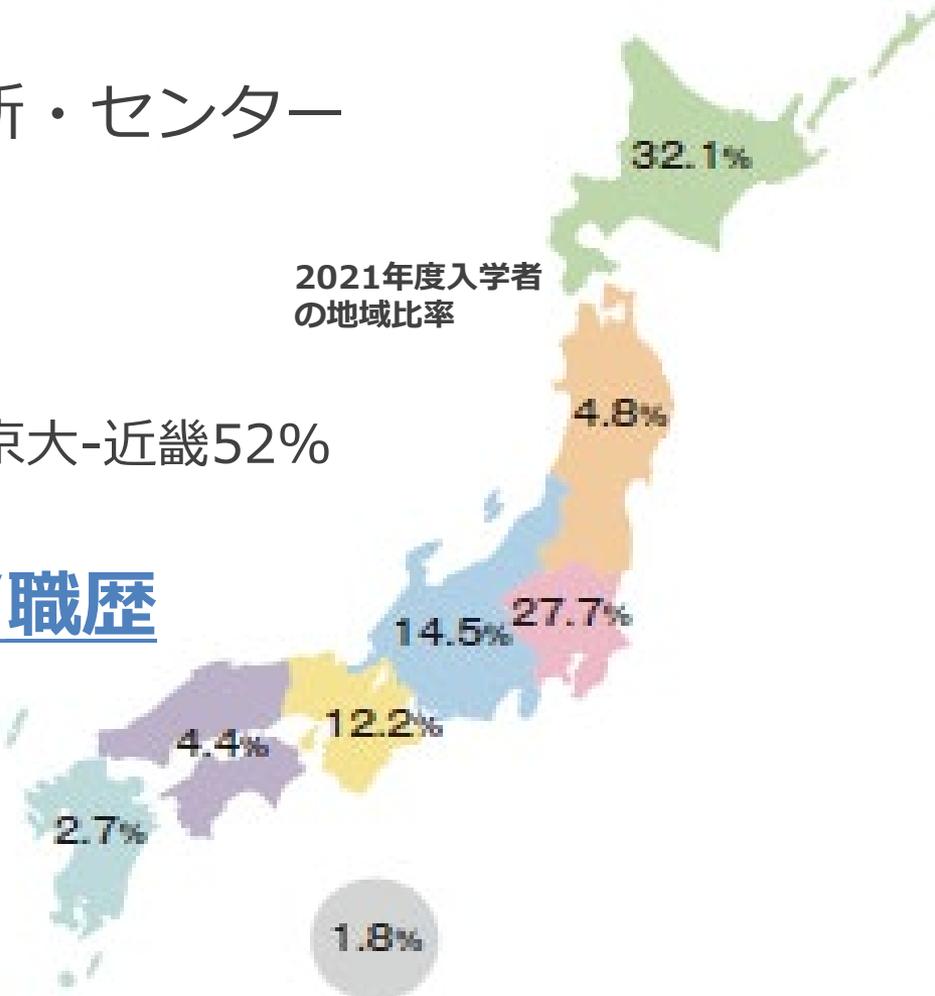
北大に偏らない教員の教育/職歴

北海道大学に在学歴のない教員

1,999名中934名

全教員に占める割合 **46.7%***

(*特任を含む)



教職員・学生における女性の割合

2021.5.1

教職員

4,215 (役員 8 名を含む)

◆ 教員* **2,283** (女性比率**14.4%**) * 特任教員を含む

◆ 職員* **1,924** (女性比率**49.1%**) * 職員のデータのみ
2020.5.1

学生

18,113 (女性比率**29.8%**)

うち留学生 **2,104** (女性比率**47.6%**)

◆ 学部 **11,561** (女性比率**29.6%**)

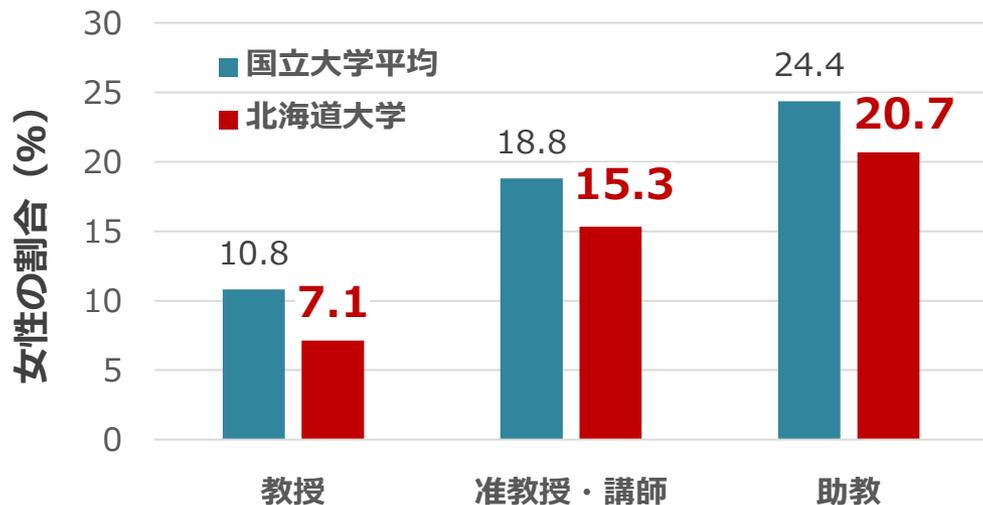
うち留学生 **179** (女性比率**41.3%**)

◆ 大学院 **6,552** (女性比率**29.9%**)

うち留学生 **1,925** (女性比率**48.1%**)



職位別女性教員の割合



参考)

第6期科学技術・イノベーション基本計画

大学教員のうち教授等（学長、副学長、教授）に占める女性割合：

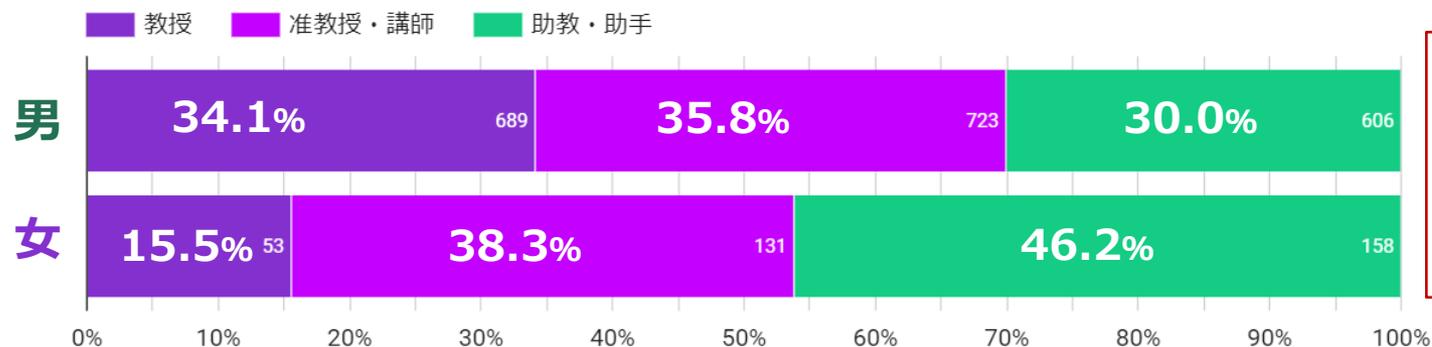
早期に **20%**、2025年度までに **23%**

2020年度

国立大学平均：2020年5月1日現在

北海道大学：2021年1月1日現在

男女別の教員職階構成



おおまかに

男性 **1:1:1**

女性 **1:2:3**



外国人の割合

2020.5.1現在、北海道大学病院職員を除く

教職員 **4,068** (外国人比率 **6.0%**)

◆教員 **2,324** (外国人比率 **8.2%**)

◆職員 **1,744** (外国人比率 **3.2%**)

学生 **18,113** (留学生比率 **11.6%**)

2021.5.1現在

◆学部 **11,561** (留学生比率 **1.5%**)

◆大学院 **6,552** (留学生比率 **29.4%**)



障害のある学生とその支援

学生相談総合センター



学生相談室
詳細 ▶

留学生相談室
詳細 ▶

アクセシビリティ支援室
詳細 ▶

ピアサポートユニット
詳細 ▶

進路、修学、対人関係、性格について、生活全般など、何でも相談してください。

留学生相談室は、留学生の成長を支援する心の相談室です。何でも気軽に相談してください。

障害のある学生の修学支援を行っています。修学上何か困ったことがあれば相談して下さい。

学生ピアサポーターによる、学生の皆さんへのサポート活動を行っています。

視覚障害
聴覚障害
発達障害
などの障害を抱えている
学生が在学しています。

アクセシビリティ支援室
では、合理的配慮のもと、
ピアサポーターによる
ノートテイク等の支援活
動を行っています。

アクセシビリティ支援室および部局で把握
している「合理的な配慮を必要とする」
学生数（学部・大学院合算合計）

2021年	81名
2020年	78名
2019年	48名

LGBTQ+サークルの活動を支援

北海道大学ホームカミングデー2021
虹の集い発表資料より



北海道大学公認
LGBTQ+サークル
虹の集い

私たちは
LGBTQ+
と呼ばれる人々の
居場所づくり
を目的とするサークルです

北海道大学の全学生のうち、LGBTQ+当事者に該当するとされる人数

1611名 (推定値)

北海道大学概要 2020年度(2020-2021)版 ※
電通 LGBTQ+調査2020 データより



サークル執行部

サークル顧問

※ **18,106名**(学生数) × **8.9%**(当事者の割合) **11人に1人**の割合
推定値は (全国20~59歳の計60,000人を対象として実施したインターネット調査における該当者の割合が8.9%)



1. 北大が目指すビジョン
2. D&I推進宣言策定の経緯
3. D&I推進宣言
4. 北海道大学における多様性
5. 今後の活動



北海道大学が
ダイバーシティ&インクルージョン

D&Iを
ちょっと
考える6か月

知って
学んで
実践へ

12月

北海道大学 D&I 推進宣言 制定記念講演会

- 12/10 大学と民族
講演：ウスビサコ氏（京都精華大学 学長）
- 12/16 大学とユニバーサルキャンパスデザイン
講演：山田 あすか氏（東京電機大学 教授）
- 12/20 大学とセクシュアリティ
講演：三成 美保氏（奈良女子大学 前副学長）
- 12/22 大学とジェンダー
講演：大沢 真理氏（東京大学 名誉教授）

11/12～13
古河記念講堂パープル・ライトアップ
『女性に対する暴力をなくす運動（内閣府）』賛同企画

1/17～3/18
附属図書館ダイバーシティ
関連図書展示企画

2/4 ダイバーシティ研究環境推進
シンポジウム

3/8 次世代リーダーシップ研究者円卓会議
女性リーダーシップを発揮する際の課題を認識し
無意識のバイアスを意識化して解決へ

ほかにもいろいろ

- ・ 本学の D&I に関するパブリックコメント募集
- ・ 教職員の D&I に関する全学的意識基礎調査
- ・ 教職員向けダイバーシティ研修オンデマンド教材の公開
- ・ 部局長等勉強会の実施

Web でいつでも読めるコンテンツも

- ・ プレコンセプションと人生設計を考えるための記事を両立支援
制度の紹介と併せて Web 連載
- ・ 研究者ママババ履面座談会記事

各企画の詳細や申込は全てこちらから

北海道大学 D&I キャンペーン

<https://bit.ly/hudi6m>



本企画全体に関するお問い合わせ
北海道大学人材育成本部 ダイバーシティ研究環境推進室
Email: reed@synfoster.hokudai.ac.jp 内線: 3625

北海道大学は
内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」
に賛同します

11/12 Fri.
13 Sat.
17:00～20:30

ハッシュタグで広めよう
#パープルライトアップ 2021

北海道大学が
ダイバーシティ&インクルージョン
をちょっと考える6か月

古河記念講堂 パープル ライトアップ

北海道大学 D&I キャンペーン

主催・お問合せ先
北海道大学人材育成本部 ダイバーシティ研究環境推進室
Email: reed@synfoster.hokudai.ac.jp 内線: 3625

『デートDV』について考えてみませんか？

<p>あなたはやっていませんか？ こんなこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 会食以外の異性との交際をする <input type="checkbox"/> 異性とどこどこなど行動の報告を強要する <input type="checkbox"/> 携帯の履歴やメールなどをチェックしたり、自分以外の連絡先を削除する <input type="checkbox"/> 会食やデートの頻度を減らす <input type="checkbox"/> 異性や異性関係のSNSを見る 	<p>あなたはうけていませんか？ こんなこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 口説き回し、強要などを受けている <input type="checkbox"/> 物事を相談しないうちに勝手に決められる <input type="checkbox"/> おどかさねる、高圧なプレッシャーを要求される <input type="checkbox"/> 電話やメールなどで対応しないといけない <input type="checkbox"/> 危険な場所、行動など強制でチェックされる <input type="checkbox"/> SNSや性行為を無理に要求される
---	---

詳しく知りたい方
相談先情報
こちら

北海道大学が
ダイバーシティ&インクルージョン
をちょっと考える6か月

推薦 図書 募集

10/31
×切

4つのテーマで
読みたい本、他の人にお勧めしたい本
を募集しています

- ①「ジェンダー・セクシュアリティ」
について考える
- ②「ダイバーシティ&インクルージョン」
について考える
- ③差別やバイアス/偏見にきづく
- ④「生き方」を模索する

詳細はこちら

北海道大学附属図書館
ダイバーシティ研究環境推進室
共催



11/12~13

古河記念講堂パープル・ライトアップ

12月

北海道大学D&I推進宣言制定記念講演会

12/10 大学と民族

12/16 大学とユニバーサルキャンパスデザイン

12/20 大学とセクシュアリティ

12/22 大学とジェンダー

1/17~3/18

附属図書館ダイバーシティ関連図書展示企画

2/4 ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム

「多様性を武器にこれからの不確実な時代を生き抜く
には～ステークホルダーからのメッセージ～」

3/8 国際女性デー

次世代リーダーシップ研究者円卓会議

北海道大学が
ダイバーシティ&インクルージョン
D&Iを
ちょっと
考える6か月

知って
学んで
実践へ

12月

北海道大学 D&I 推進宣言
制定記念講演会

12/10 大学と民族
講演：ウスビサコ氏（京都精華大学 学長）

12/16 大学とユニバーサルキャンパスデザイン
講演：山田 あすか 氏（東京電機大学 教授）

12/20 大学とセクシュアリティ
講演：三成 美保 氏（奈良女子大学 前副学長）

12/22 大学とジェンダー
講演：大沢 真理 氏（東京大学 名誉教授）

11/12 ~ 13
古河記念講堂パープル・ライトアップ
「女性に対する暴力をなくす運動（内閣府）」賛同企画

1/17 ~ 3/18
附属図書館ダイバーシティ
関連図書展示企画

2/4 ダイバーシティ研究環境推進
シンポジウム

3/8 次世代リーダーシップ研究者円卓会議
女性がリーダーシップを発揮する際の障壁を認識し
無意識のバイアスを意識化して解決へ

ほかにもいろいろ

- ・本学のD&Iに関するパブリックコメント募集
- ・教職員のD&Iに関する全学的意識基礎調査
- ・教職員向けダイバーシティ研修オンデマンド教材の公開
- ・部局長等勉強会の実施

Web でいつでも読めるコンテンツも

- ・プレコンセプションと人生設計を考えるための記事を両立支援
制度の紹介と併せて Web 連載
- ・研究者マナビバ履面座談会記事

各企画の詳細や申込は全てこちらから

北海道大学 D&I キャンペーン

<https://bit.ly/hudigm>

北海道大学

本企画全体に関するお問い合わせ
北海道大学人材育成本部 ダイバーシティ研究環境推進室
Email: reed@synfoster.hokudai.ac.jp 内線: 3625





北海道大学

ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言

Commemorative Lectures for the Enactment of Hokkaido University Declaration on the Promotion of Diversity and Inclusion

制定記念講演会

オンライン

北海道大学では、人権尊重の観点から人間社会の基盤であるとともに「世界の課題解決に貢献する」大学として不可欠な「多様性と包摂」の理念について、学内構成員の理解を促進し、国際社会に向けて本学の決意を発信することを目的に、「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」の制定を記念し、連続講演会を開催します。

2021年12月10日(Fri) 18:30-20:00

◎開会式 18:00-18:20

◎第1回記念講演 大学と民族

2021年12月16日(Thu) 18:30-20:00

◎第2回記念講演

大学とユニバーサルキャンパスデザイン

2021年12月20日(Mon) 18:30-20:00

◎第3回記念講演 大学とセクシュアリティ

2021年12月22日(Wed) 18:30-20:00

◎第4回記念講演 大学とジェンダー

◎閉会式 20:00-20:10

- 開催方法 オンライン (12月10日のみ北海道大学学術交流会での視聴も可)
- 定員 各回150名(要申し込み・先着順)
- 対象 北海道大学教職員および学生、一般の方
- 参加費 無料 使用言語 日本語

申し込みはWEBのフォームにて
<https://reed.synfoster.hokudai.ac.jp/archives/19070>
申し込み受付後、Zoomウェビナーの視聴URLをお送りします。
【申込期限/各講演会前日の正午まで】



文部科学省科学技術・人材育成財団事業「ダイバーシティ研究推進実例イニシアティブ(第1期)」

北海道大学 ダイバーシティ & インクルージョン推進宣言 制定記念講演会

Commemorative Lectures for the Enactment of Hokkaido University Declaration on the Promotion of Diversity and Inclusion

2021

12

10

18:30

20:00

オンライン

12月10日のみ北海道大学学術交流会での視聴も可

第1回記念講演

開会式 18:00-18:20

◆開会の辞 山口 淳二/北海道大学理事・副学長・人材育成本部長
◆式典挨拶 資金 清博/北海道学総長

大学と民族

◆講演者 ウスビ・サコ/京都市精華大学学長

グローバル化時代の大学

～違いを認め合う共生社会を目指して～

◆講演者 結城 幸司/アイヌ・アート・プロジェクト代表

◆司会 加藤 博文/北海道大学 アイヌ・先住民研究センター長
※聞き手、司会の方は学術交流会からのご参加です。

マリ共和国生まれ。国の旗連により北京語言大学、東京東海大学で学ぶ。1990年、東京で短期ホームステイを経験しマリに共通するような下町の文化に驚く。91年末、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月から現職。

2021

12

16

18:30

20:00

オンライン

第2回記念講演

大学とユニバーサルキャンパスデザイン

◆講演者 山田 あすか/東京電機大学未来科学部建築学科教授

共生社会の基盤となる キャンパス・コミュニティ

◆講演者 小篠 隆生/北海道大学大学院工学研究院准教授

◆司会 菅原 修孝/北海道大学理事

専門は医療・福祉等分野の建築計画、環境行動で、建築による生活者の支援の研究。主筆に、日本建築学会奨励賞、日本建築学会学芸賞(2018)「医療・福祉施設における利用者本位の建築計画に関する一歩の研究—環境行動、施設計画、制度と都市環境のスケールを断絶して」、関東教育協会賞優秀賞、キャンパスデザイン賞等。

2021

12

20

18:30

20:00

オンライン

第3回記念講演

大学とセクシュアリティ

◆講演者 三成 美保/奈良女子大学教授

なぜ、ダイバーシティが必要か? ～尊厳としてのセクシュアリティ～

◆講演者 鈴木 賢/明治大学法学部教授、北海道大学名誉教授

◆司会 瀬名波 栄潤/北海道大学大学院文学研究院教授

2016～2020年:奈良女子大学副学長
2017～2020年:日本学術会議副会長
学術(専ら)分野
専門/ジェンダー論学・ジェンダー史・比較文化論
著書/三成美保編『同性愛をめぐる歴史と倫理—尊厳としてのセクシュアリティ』(筑摩書房、2015年)
三成美保編『LGBTの雇用と労働—当事者の経験とその解決方法を考える』(洋泉社、2019年)
三成美保編『教育とLGBTをつなぐ—学校・大学の現場から考える』(青弓社、2017年)

2021

12

22

18:30

20:00

オンライン

第4回記念講演

大学とジェンダー

◆講演者 大沢 真理/東京大学名誉教授

ジェンダー平等を推進し、 研究する人生の魅力を高める

◆講演者 三輪 敦子/一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事

◆司会 長堀 紀子/北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室特任教授

専門は社会政策の比較ジェンダー分析。大学内では総長補佐(2000年度)に続きハラシメント防止委員会副委員長、男女共同参画推進委員会基本計画策定専門委員会委員長、男女共同参画推進室長、社会科学研究所長、大学執行役員学長など、学外では男女共同参画推進委員会(専門)委員(1995～2000年)、男女共同参画社会政策推進調査専門調査会会長(2001～2004年)、日本学術会議(建研)会員(2005年—現在)。

閉会式 20:00-20:10

◆開会の辞 矢野 理香/北海道大学大学院人財育成本部ダイバーシティ研究環境推進室長



主催 北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室



共催 北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター(CAEP)



北海道大学

持続可能な社会の実現に向けて、
社会からの負託に応えるための北海道大学の新たなビジョン

「光」は「北」から
「北」から「世界」へ

「比類なき」大学へ

問い合わせ先

北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室
メール：reed@synfoster.hokudai.ac.jp